

伶楽舎雅楽コンサート no.38
REIGAKUSHA Gagaku Concert no.38 "Oshokun"

王昭君をめぐって

きとくのきゅう
舞楽 貴徳急

おうしょうくん
管絃 平調音取、王昭君

めいひきよく
伊左治直作曲 明妃曲 (委嘱初演)

こかんやぜんう
芝祐靖作曲 雅楽組曲 呼韓邪單于 —王昭君悲話—



2021 12月17日(金) 18:00開演
(17:15開場)

なかのZERO小ホール

JR又は東京メトロ東西線「中野」駅南口から徒歩8分

前売3,000円 当日3,500円(全席自由席)

チケット発売開始:10月4日(月)

- 伶楽舎(枚数、氏名、電話・ファクス番号を明記ください。後ほど確認のご連絡をいたします。)
FAX 03-5269-2011(伶楽舎) *ファクスのみの取り扱い(12/15 17:00まで)
Eメール ticket@reigakusha.com (12/15 17:00まで)
- 東京コンサーツ
・オンラインチケットサービス
<http://confetti-web.com/TOKYO-CONCERTS>
・電話予約(カンフェティチケットセンター)
0120-240-540 (受付時間 平日10:00~18:00オペレーター対応)
- e+(イープラス) <http://eee.eplus.co.jp>



ご来場に当たっては、新型コロナウイルス感染予防対策へのご理解とご協力をお願いいたします。チケットは半数販売としておりますが、今後の状況に応じて追加販売することがございます。何卒ご了承ください。

助成: 芸術文化振興基金



公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京



公益財団法人 ロームミュージックファンデーション

NOMURA 野村財団

公益財団法人 花王 芸術・科学財団

客演: 下野戸亜弓(呼韓邪單于) 企画・主催: 伶楽舎

伶倫楽遊

王昭君は、前漢の元帝(在位BC48~33)に仕えた宮女で、元帝の命により、匈奴の王、呼韓邪単于に嫁いだことで知られています。呼韓邪単于は、臣下となるにあたって漢族との婚姻を望み、元帝は後宮の女性の似顔絵の中から一番醜い王昭君を選んで差し出したといわれています。当時、後宮では帝の目にとまるよう、絵師に賄賂を送って、より美しく描いてもらう策略が横行していましたが、賄賂を送らなかった王昭君は醜く描かれており、実際の王昭君を知らなかった元帝は別れの際に初めてその美貌を見て、大変後悔したとも伝わっています。匈奴との和親政策のため遠い異国に送られた悲劇のヒロインとして、王昭君は、その後、多くの詩歌や絵に取り上げられることとなりました。

今回演奏する芝祐靖作曲「呼韓邪単于~王昭君悲話~」は、王昭君の物語を、女性の歌謡を中心に、劇的に描く古典雅楽様式の組曲で、雅楽が失ってしまった詩情、色彩感、エネルギーなどの表現を盛り込んだ芝の代表作の一つです。

また、王昭君に関連して、現行の雅楽曲「王昭君」、王昭君とほぼ同じ時代を生きた匈奴の^{じつちくおう}日逐王に由来する舞楽「貴徳」の他、伊左治直氏に王昭君をテーマにした新作を委嘱しました。伊左治氏はこれまで伶楽舎の委嘱で「紫御殿物語」「踊れ! つくも神~童子丸てんてこ舞いの巻」等の雅楽の作品を書かれており、今回は、歴史や民俗学などにも詳しい伊左治氏ならではのひと味違った王昭君、琵琶を中心に王昭君の心情を伝える「明妃曲」にご期待ください。

いさじすなお
伊左治 直

現代音楽系の作曲や即興演奏から、ブラジル音楽のライブなど様々な活動を展開している。これまで日本音楽コンクール第1位、現音作曲新人賞、芥川作曲賞、出光音楽賞、2019年『南蛮劇場—伊左治直 個展』にて佐治敬三賞など受賞。作品集CDに『熱風サウダージ劇場』がある。近作に、声明・謡・民謡・ポップスの共演と映像による《ユメノ湯巡り声ノ道行》(構成・作曲・出演)、鼓童とオーケストラのための《浮島神楽》、こどものための雅楽《踊れ! つくも神~童子丸てんてこ舞いの巻》(原作・脚本・作曲)、ビデオ作品《蝶の灯火》(音楽・構成)、笙と薩摩琵琶のための《予言獣》など。今年9月には黛敏郎作曲《昭和天平楽》(指揮:伊左治直、演奏:伶楽舎)の蘇演CDが発売された。

しばすけやす
芝 祐靖

1935年、800年余り続く奈良系の伶人の家に生まれ、1984年まで宮内庁楽師をつとめた。1985年伶楽舎を創立し音楽監督となる。古典雅楽の演奏のほか、現代雅楽、現代邦楽の作曲・演奏を行い、雅楽廃絶曲の復曲、国立劇場の正倉院収蔵楽器復元に参加し、敦煌琵琶譜などの復興にも携わる。ソロ、伶楽舎ほかのアンサンブルで海外公演も多数行う。広く雅楽に親んでもらえるよう、語り入りの子どものための雅楽作品を創作、自ら学校などでの演奏活動に多く参加した。2003年より日本芸術院会員、2009年旭日中綬章、2011年文化功労者、2017年文化勲章、他多数受賞。2019年7月永眠。

客演
しものとおゆみ
下野戸 亜弓

山田流箏曲演奏家。東京藝術大学音楽学部邦楽科卒業、同大学院音楽研究科修士課程修了。リサイタルほか、様々なジャンルの演奏会に出演、放送・CD録音、舞台演劇の音楽制作に数多く参加。古典のみならず、現代作曲家の作品を数多く委嘱初演、また自らも創作するなど幅広い活動を展開。箏歌の魅力と新たな可能性を追求している。CD「万葉の恋歌」他。下野戸亜弓の会主宰。

<https://shimonoto.jp>

伶楽舎 (れいがくしゃ)

1985年に発足した雅楽演奏団体。創立者・芝祐靖。音楽監督・宮田まゆみ。現行の雅楽古典曲だけでなく、廃絶曲や正倉院復元楽器、現代作品の演奏等、幅広い活動を展開。国内各地の他、米国、欧州諸都市で公演。2002年中島健蔵音楽賞特別賞受賞。2017年佐治敬三賞受賞。2020年第50回ENEOS音楽賞邦楽部門受賞。他に解説を入れた親しみやすいコンサート、学校での公演なども多く行っている。

伊崎善之、石川高、岩亀裕子、北村茉莉子、國本淑恵、小林勝幸、五月女愛、笹本武志、野護元、鈴木絵理、田口和美、武智和子、田島和枝、田中康真、谷内信一、田淵勝彦、角田真美、東野珠実、中村華子、中村仁美、野田美香、平井裕子、福西賢、三浦礼美、宮田まゆみ、宮丸直子、村岡健一郎、八百谷啓、八木千暁、荒川明英、中村かほる



一般社団法人 伶楽舎

〒160-0012 新宿区南元町19-2千日谷会堂内 tel&fax: 03-5269-2011
<http://www.reigakusha.com> <https://www.facebook.com/reigakusha>

